

みずほCustomer Desk Report 2022/03/11号 (As of 2022/03/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	116.01
TKY 9:00AM	115.92	1.1073	128.31	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	116.20	1.1121	128.85	1.3185	0.7319
SYD-NY Low	115.82	1.0976	127.44	1.3194	0.7367
NY 5:00 PM	116.13	1.0988	127.59	1.3081	0.7288
				1.3082	0.7358
NY DOW	33,174.07	▲ 112.18	日本2年債	-0.0350	0.50bp
NASDAQ	13,129.96	▲ 125.58	日本10年債	0.1880	2.80bp
S&P	4,259.52	▲ 18.36	米国2年債	1.7004	2.67bp
日経平均	25,690.40	972.87	米国5年債	1.9230	4.38bp
TOPIX	1,830.03	71.14	米国10年債	1.9925	4.19bp
シカゴ日経先物	25,300.00	▲ 100.00	独10年債	0.2675	7.80bp
ロンドンFT	7,099.09	▲ 91.63	英10年債	1.5205	0.05bp
DAX	13,442.10	▲ 405.83	豪10年債	2.3350	6.20bp
ハンセン指数	20,890.26	262.55	USDJPY 1M Vol	6.91	▲0.19%
上海総合	3,296.09	39.70	USDJPY 3M Vol	7.05	0.02%
NY金	2,000.40	12.20	USDJPY 6M Vol	7.15	▲0.05%
WTI	106.02	▲ 2.68	USDJPY 1M 25RR	-1.11	Yen Call Over
CRB指数	291.321	▲0.77	EURJPY 3M Vol	10.58	0.00%
ドルインデックス	98.51	0.54	EURJPY 6M Vol	10.05	▲0.25%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
3月10日	21:45	欧	ECB主要政策金利	10-Mar 0.0%	0.0%
	21:45	欧	ECB預金ファンリイ・レート	10-Mar -0.5%	-0.5%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	2月 0.8%/7.9%	0.8%/7.9%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	5-Mar 227k	217k

【本日の予定】

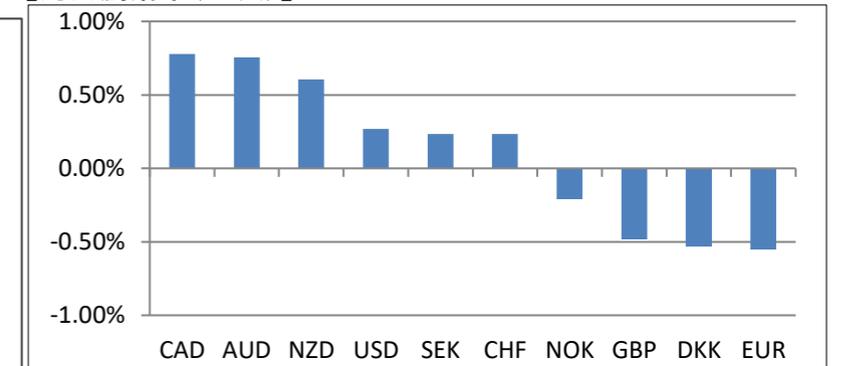
Date	Time	Event	予想	前回	
3月11日	16:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 0.1%/1.9%	0.3%/0.4%
	16:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	1月 0.2%/3.1%	0.2%/1.3%
3月12日	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 61	62.8

東京	東京時間のドル円は115.92でオープン。ウクライナ情勢への緊張感が和らいだことからリスクオンの展開となり、日本株は前日対比大幅なプラス圏で推移。ドル円は序盤からじりじりと上昇し、仲値付近で116円台にのせた。午後に入ってもリスクオンの流れは継続し116.20まで上昇。終盤にかけては押し戻され、116.02で海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は116.02でオープンするも米2月の消費者物価の発表を控えて小動き。東京時間の終盤でドルが売られた流れを引き継ぎ、オープン直後は115.82まで下げたが、すぐに反発し、115.92でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でリスク回避の動きが後退し円売りに116.20まで上昇したドル円は、115.92でNYオープン。朝方は注目の米2月CPIが前回から上昇したものの、予想と一致したことからドル円の反応は限定的となるが、同時に開始されたカド ECB総裁の記者会見で「景気見通しは高まった」「景気見通しは下向きに傾いた」等、ハド派で、不透明な要素が多いことからすべてのオプションを保有するような発言もあり、ECB理事会結果を受けて大きく上昇したユーロドルが反落する展開に、ドル円は116.19まで戻す。その後インの外務相が核合意に関して米国の要求が筋が通っていないと話し、核合意が遠くなり、インが原油市場に戻ってこれないことから欧州のスタグレーション懸念から、ユーロ円が下落する展開にドル円も115.94まで下落する。その後は米金利が低下する一方、ドル買いが強まったことからじり高で推移し、116.13でクロスした。一方、ECB理事会結果を控え海外市場では狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、PEPPの購入は3月で終了、APPは7~9月に終了する可能性、金利は現在よりも低くなる可能性の文言を削除等、市場の予想範囲の結果が発表されたが、利上げの直前に資産購入を終了の文言を削除されたのは予想外に効派との見方から、一気にユーロ買いが持ち込まれ1.1121まで上昇し、1.1099でNYオープン。朝方は前述のカド ECB総裁の発言を受けユーロドルが売戻され、加えてインとの核合意が遠くなったこともあり、1.0980まで下落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、ウクライナ、ロシア情勢が改善の兆しが見当たらない中、ユーロドルは上値の重い展開が続き、1.0988でクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.70-116.70	1.080-1.150	127.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は、日経平均株価が前日対比大幅なプラス圏で推移し、リスクオンの展開の中、116.20まで上昇。その後は値を戻し海外時間に渡った。海外時間に入り、ECB理事会がややタカ派な内容になるとユーロ買いドル売りで反応し、ドル円は115.80台へ下落。その後発表された米2月CPIは前年比+7.9%と市場予想通りも家賃の伸びは約30年ぶりの伸びとなり、米10年債利回りが上昇。またラガルドECB総裁の弱気な発言を背景にドル買いユーロ売りで反応する中、ドル円は116円台に戻し、116.13でクローズした。本日のドル円は小幅な上昇を予想。昨日の米2月CPIの結果を受けて、3月25bp利上げが確実視される中、米10年債利回りも2月半ばの水準まで戻しており、ドル買いは進むか。ただ、ウクライナ情勢不安から資源価格の高騰が続く中、本日発表の米3月ミシガン大学消費者マインドが弱い結果となり、個人消費減速を発端としたスタグフレーション懸念が高まると米10年債利回りや株の下落をうけたドル円の下落にも注視したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小野崎